

第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人介護の会まつなみ

②評価調査者研修修了番号

SK18078

神機構-571

#REF!

神機構-734

③施設名等

名称:	ドルカスベビーホーム
施設長氏名:	摩尼 昌子
定員:	25名
所在地(都道府県):	神奈川県
所在地(市町村以下):	綾瀬市吉岡2380-2
TEL:	0467-78-1054
URL:	http://www.dorucas-baby.org/
【施設の概要】	
開設年月日	1969/4/1
経営法人・設置主体(法人名等):	社会福祉法人唐池学園
職員数 常勤職員:	36名
職員数 非常勤職員:	15名
有資格職員の名称(ア)	社会福祉士
上記有資格職員の人数:	2名
有資格職員の名称(イ)	保育士
上記有資格職員の人数:	30名
有資格職員の名称(ウ)	臨床心理士
上記有資格職員の人数:	1名
有資格職員の名称(エ)	看護師
上記有資格職員の人数:	5名
有資格職員の名称(オ)	栄養士
上記有資格職員の人数:	5名
有資格職員の名称(カ)	医師
上記有資格職員の人数:	1名
施設設備の概要(ア)居室数:	3グループ体制
施設設備の概要(イ)設備等:	宿泊可能な親子支援室、本体施設外の小規模グループケア室
施設設備の概要(ウ):	
施設設備の概要(エ):	

④理念・基本方針

理念 子どもの幸せのために

- 基本方針
- 1 情緒の安定をはかり、情操豊かな人間性を育てる
 - 2 自ら生活を創り上げていこうとする自主性を育てる
 - 3 強い心と理想をもって、現実に向き合っていこうとする志向性を育てる
 - 4 仲間のことも考え育ちあっていこうとする連帯性を育てる

⑤施設の特徴的な取組

- ・大人に愛されることを実感することで、大人も自分も信じていることができる子に育ててほしい。
- ・家庭とのつながりを大切にし、交流はいつでも歓迎している。
- ・具体的運営においては、トップダウンではなく、職員自らが考え話し合っている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2020/6/1	
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2021/3/1	
前回の受審時期(評価結果確定年度)	平成29年度	

⑦総評

特に評価が高い点：①心理的支援が積極的に行われています。心理士を配置をし、心理的支援についてカンファレンスで協議し支援しています。精神疾患の父母の相談要望にも心理士が当たっています。事例検討会等で心理的支援についての学びをしています。②親子関係再構築に積極的に取り組んでいます。
改善を求める点：①理念・基本方針を職員・保護者への周知を希望します②総合的な人事管理について検討を希望します③1人ひとりの職員の目標管理を期待します④評価結果を分析し施設の運営・養育・支援の改善をする事を希望します。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

3年前に比べ職員の構成・経験年数が変化した事で、課題の変化が大きくみられた第三者評価となりました。今後、職員の定着、安定の為に人事管理等、更に力を入れていきたいと考えます。評価結果を鑑み施設運営に役立たせてたいと思います。

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
ホームページには理念・基本方針の記載があり、養育・支援の内容や特性を踏まえた施設の使命や目指す方向等を読み取ることができるがパンフレットには記載がなく、職員・保護者への周知がされていません。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
社会福祉事業全体の動向は、施設長会や研修の場、県職員のやりとりにより施設長が把握しており、職員会議にて報告されています。会議などの報告により判断できる状況になっています。養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を3ヶ月に1度予算会議があり、全職員参加で把握しています。		

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	

【判断した理由・特記事項等】

予算会議において前年度決算や当年度予算について周知を図り、課題解決に向けた予算執行のあり方を検討しています。理事会で経営状況や改善すべき課題について共有されています。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

法人事業計画に中期行動計画が作成され、目標が明確になっています。中期行動計画は具体的な内容になっています。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画（事業計画と収支予算）に、中・長期計画（中・長期の事業計画と中・長期の収支計画）の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【判断した理由・特記事項等】

事業計画に中期行動計画の内容が反映され、実行可能な計画になっています。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

事業計画の策定に職員が参画し意見の反映のもとで策定されています。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

行事等は、おたよりでお知らせしている。乳児院において保護者に具体的な計画周知は行っていないので、評価を「c」とします。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	

【判断した理由・特記事項等】

質の向上には研修や事例検討会を行っています。個人目標を軸に部屋会議で話し合い、日々情報を共有し意見交換などを行っています。毎年、自己評価を行っています。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

リーダー会議等で課題の共有化をしています。評価結果の分析がされていないので評価を「c」とします。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 職員会議等で方針と取り組みについて話しています。就業規則・管理規程で役割と責任が明確になっています。職員会議等で施設長の考えを話しています。非常時災害マニュアルで施設長の役割が明確になっています。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

「施設外研修」で各種の研修会・会議に出席し遵守すべき法令等を把握しています。経理規程に基づき利害関係者（取引事業者、行政関係者等）とは適正な関係を保持しています。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

施設長として養育・支援に取り組んでいます。職員に養育現場をまかし、職員が主体的に動いています。研修も現場が考え実行しています。職員の主体性を活かす取り組みをしています。最終判断を施設長が行っています。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設（法人）の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【判断した理由・特記事項等】

人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいます。予算会議等で経営の改善や業務の実効性の向上に向けて協議しており、自らも参画し協議しています。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果	
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○

<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

事業計画に人材育成の取り組みについて明示してあります。また研修計画も策定されています。求人活動もしています。加算職員を配置しています。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

人事基準としてのどの職種も経験年数に応じて給与が定められるなどの基準は必要に応じて施設長が伝えています。法人の新人研修の際に理事長からも話がされています。しかしながわ総合的な人事管理が行われていないので評価は「c」とします。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認しています。勤務等、ワークバランスを意識して長期的に働けるように職員が案を出し合っています。産休や育休の確保もしています。職員のメンタルヘルスの為、外部心理職のカウンセリングを定期的に実施しています。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	

<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員の指導担当制を取っています。新任職員に対してメンター制を取り入れています。また、所属部屋の職員同士、働く姿を目にできるため、必要に応じて話すことができます。必要に応じて、新任職員には中間面接等が実施されています。職員一人ひとりの目標が設定されてなく目標管理が行われていないと判断し、評価を「c」とします。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

研修計画は策定されており、年間1回は院外の研修に参加できる機会を設けています。また年2回の院内研修、救急法を実施しています。職員の教育・研修に関する基本方針を明確に文書化されることを期待します。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

新任職員・中級職員・上級職員・中堅職員・基幹の職員・FSW別の研修計画が策定されており、院外研修を情報提供し参加を勧奨しています。年間1回は院外の研修に参加できる機会があり、年2回の院内救急法研修しています。職員一人一人が研修等に参加できるように配慮され、勤務年数に応じて研修内容を選択しています。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「実習生受け入れに関して」に基本姿勢を明文化しています。「実習生指導のために」「乳児院における保育実習」のマニュアルが整備されており、年間を通して、受け入れ、積極的に取り組んでいます。「乳児院における保育実習」で特性に配慮したプログラムが用意されています。実習生受け入れ指導に関する計画があります。実習期間中に学校の指導担当職員の訪問指導があり連携しています。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
<p>① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>ホームページ・社会福祉医療機構WAMNETに法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が公開されています。取組の実施状況、第三者評価の受審、第三者評価結果や苦情・相談の体制や内容についてもホームページで公開されています。広報誌「雑品倉庫」の配布を行っています。</p>	
<p>② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>就業規則、経理規程、組織図、管理規程でルール、職務分掌と権限・責任が明確になっています。外部専門家の監査もしています。予算会議を職員会議内で行うことで、外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて協議されています。</p>	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
<p>① 23 子どもと地域との交流を上げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども個々の個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもへの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>地域イベント参加、地域のお祭りのイベントに参加し、職員が支援をしています。日常的なコミュニケーションを心がけていることも記録から確認できています。地域の公園、病院スーパー等も利用しています。</p>	

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

「ボランティアの受け入れに関して」が整備され基本姿勢を明文化しています。「ボランティアの受け入れに関して」が、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたものになっています。ボランティアに対して必要な研修・支援を行っています。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

病院予約一覧表・児童相談所・近隣公園マップのリストが用意してあります。職員会議で情報の共有が図られており、関係機関・団体との連絡会等に参加し、地域の関係機関・団体と共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っています。ネットワーク会議に参加する機会が増え、必要に応じて連絡を取ることができるようになっていきます。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

地域の関係団体等との連携も図られており、地域のイベント等に参加交流していて、地域の関係機関・団体と共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っています。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

地域のお祭りに参加し、コーナーを開いています。里親センターひこばえの活動をしています。消防計画書で、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている事を確認しています。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。 <input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	b ○ ○ ○ ○ ○

【判断した理由・特記事項等】

事業計画・事業報告に子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取り組みをしています。管理規程に全国乳児福祉協議会制定の「乳児院倫理綱領」に基づくことが明示されており、職員に周知しています。基本姿勢が養育確認事項や振り返り、月のまとめなどで標準的な実施方法等に反映されています。研修も実施されています。自立支援計画書、発達記録表、ケース検討会議、意見交換会等で基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っており、にやりほっと、ひやりほっとのアンケートも実施されています。

② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。 <input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社労福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。 <input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。 <input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	b ○ ○ ○ ○
--	---------------------------

【判断した理由・特記事項等】

プライバシー保護について明示されており、職員に周知されています。人権擁護のヒヤリハットで、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されていることを確認しています。個人情報には特に気をつけています。養育室に子どもの名前は提示せず、面会時の会話にも気を付けています。保護者には入所の際に説明しています。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。 <input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 <input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。 <input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。 <input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	b ○ ○ ○ ○ ○
---	--------------------------------

【判断した理由・特記事項等】

パンフレット、入所のご案内が理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性を紹介したわかりやすい資料になっています。入所時、面会時、外泊時に資料などを使用して情報提供をしています。ニーズに合わせてF S Wが説明をしています。入所前に希望が挙げれば事前の見学に対応しています。見学時に保護者からの質問や不安を受けています。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

保護者との面会・説明記録、自立支援検討会議事録などで主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明していることを確認しています。定期的にカンファレンスを行っています。毎月お便りを作成しています。面会を養育室で行っている為どの様に養育されているか見ることができます。そのため、やり取りも多く保護者からの希望で叶うものは取り入れています。自立支援検討会の保護者の参加や面会にも保護者の意見を聞く体制が取れています。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【判断した理由・特記事項等】

「養育担当者の仕事」に退所に関する記載があり、配慮されており、手順が定められています。退所後のアフターフォローについては説明をしています。退所時状況一覧などの書類の作成がされており、面会の交流時から伝えているが、退所時には丁寧に引継ぎしています。退所時に困った事があればいつでも連絡して大丈夫な事を伝えて、年2回の行事に招待する中で長く繋がっている家庭もあります。24時間職員がおり、相談の電話を夜間も受け入れていることも入所中から伝えています。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

事例検討会を実施しています。担当職員が毎月の個人目標を作成し部屋会議で共有しています。保護者に対して、面会などで信頼関係を築こうと努めています。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
---	-------------------------------	---

<input type="checkbox"/>	養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備され、苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示されています。入所児に苦情を誰に言えばよいかまた、意見箱があり施設長が見ることを保護者に伝えてあります。職員あるいは、児童相談所等が聞いた苦情や訴えは職員間で共有され保護者にも謝罪し、次の場面に活かしています。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<input type="checkbox"/>	保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

意見箱の設置をしてあることや養育職員、施設長やFSW、児童相談所等に相談して良い事を説明しています。応接スペースを確保しています。面会時のやり取りで保護者との関係を築き、保護者のニーズを知るようにしています。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<input type="checkbox"/>	職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

保護者から話があった場合には、FSWに報告され、対応すべきことは間をあげずに行っています。意見箱を設置しています。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<input type="checkbox"/>	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="radio"/>

	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

「ドルカスベビーホームに於いて予想される事故」に事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にしてあります。事故報告書・ヒヤリハットを作成し必要に応じて部屋リーダーが当事者と振り返っています。年に1回の人権擁護のヒヤリハットアンケートを実施し、発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われています。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

看護師を中心に感染症に関するマニュアルが作成され、職員に周知されています。発生時には看護師等の指示の元、適切に対応し、感染症の予防策もしています。必要に応じて職員会議などで説明もされています。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【判断した理由・特記事項等】

非常時災害対応マニュアルが作成されており、対応体制が決められています。毎月避難訓練を実施し、火災・地震等訓練も実施しています。避難訓練実施要領に子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されています。8月には赤十字社の方による救急法を実施しています。食料や備品類等の備蓄リストも作成されています。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

【判断した理由・特記事項等】
 「養育確認事項」「養育担当者の仕事」「ドルカスベビーホーム養育食育年間計画表」「食事マニュアル」等が作成されており、養育支援について標準的な実施方法が文書化されています。全国乳児福祉協議会（平成27年）乳児院倫理綱領にプライバシーの保護など明文化されています。職員への周知もされています。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 定期的な話し合い、見直しを実施しており、必要があれば修正をし自立支援計画を作成しています。毎月の月の反省や活動計画、こども一人ひとりの個人目標の作成をし会議にて共有され、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっています。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 自立支援計画はFSWが把握・管理しています。毎月の目標と反省の作成を行い、情報共有を行っています。カンファレンス後の自立支援計画書の作成をして、それぞれの機関の支援や課題を表記しています。「月のまとめ」「月の活動計画」で毎月の目標と反省が実施されており、支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われています。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 「養育確認事項」で養育・支援を確認する仕組みが構築されています。また、定期的にカンファレンスを実施しており、評価見直しをし課題等が明確にされています。職員には職員会議等で周知しています。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

日々に養育、子どもの様子は養育日誌、入園日誌・生活記録に記録を残し、職員間では、引き継ぎ時に共有を図っています。記録要領も作成し、記録内容とに差異が生じないようにしています。毎月実施される部屋会議と全体会議で情報を共有しています。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【判断した理由・特記事項等】

個人情報保護規程、記録要領が作成されており、記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関することを定めています。記録を含めた子どもに関わる情報は、その子供のケースファイルに集約され事務所と書庫で保管しています。個人情報の取扱いについて、保護者等に説明しています。

内容評価基準（23項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果	
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

権利擁護に関する規程が明文化されています。年に1回人権擁護のヒヤリハットを職員が提出し、内容を分類してまとめを作成した後に、意見交換会を開いています。他の職員の意見から子供の権利擁護の理解と日々の支援の気づきが生まれ、権利侵害の防止と早期発見につなげています。新人職員、中堅職員を権利擁護の研修に参加させ、意見交換会等を利用して、研修報告を行い権利侵害の防止に努めています。また、いつでも閲覧できるように各部屋に規定が置かれ、職員の周知を図っています。

(2) 被措置児童等虐待の防止等

①	A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の観点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	

【判断した理由・特記事項等】

「ヒヤリハット報告」と「事故報告」の対応の流れを作成しています。その報告を活用して、職員会議や意見交換会で不適切なかかわりがなかったか等の問題点の対応を協議し、職員体制の見直しや研修に参加することで、不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいます。「にやりほっと報告」を利用して意見を交換し、子供の気持ちにそった適切な対応方法の周知と理解を図っています。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

担当養育制に取り組み、抱っこや優しい語りかけなどのふれあいを日々継続することで、安心感と信頼感につなげ愛着関係を育んでいます。担当者がそばを離れる時は他の職員に声掛けし、必要時すぐに対応できるよう配慮しています。園外の散歩を日課に入れて担当者との個別の時間を確保しています。特別な配慮が必要な幼児に対しては家庭支援専門員や心理士に相談し、部屋ごとの職員間で状態を把握しながら、良好な関係作りに努めています。

②	A4 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	b
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。	○
	<input type="checkbox"/> 居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

生活リズムに応じて養育に当たっています。家庭で当たり前を経験していることを乳児院でも経験できるよう自由で楽しい遊びの時間にしています。玩具棚は子供の手で取れるところに玩具が置かれています。個人玩具、衣類、コップ 靴があり個別化が図られています。破損した玩具は修繕や交換を行い、コンセントは高い位置に設置して安全に配慮しています。散歩マップを利用して、園外に出かけ、日光を浴び、花や木の実に触れて、季節を感じながら養育担当者と過ごす時間を作っています。1歳4か月からは遠足も取り入れています。

③	A5 子どもの発達を支援する環境を整えている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	○
	<input type="checkbox"/> 言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。	○
	<input type="checkbox"/> 「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。	○

【判断した理由・特記事項等】

児童自立支援計画や個人の目標に沿って、月齢や発達に応じて養育に当たり、小グループへの移行も視野に入れて検討しています。言葉で明確に説明することができない子どもの気持ちを理解し、受け止めていくために、日々の生活の中での個々の心身状態の観察と、言葉がけや関わりをしています。子どもの定員数や頻繁な入退所により落ち着いた雰囲気になることがあり、その課題解決には大人側のマンパワーや余裕にかかってくることを意識し、職員体制づくりや研修、意見交換を通して対応を学び、常に応用できるようにしています。

(2) 食生活

①	A6 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	○
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

自律授乳で子どもが飲みたい時に満足できるように対応しています。個々の特徴に合わせて哺乳瓶の種類やサイズなども変えて授乳しています。1対1になれる貴重な時間であることを意識して授乳にあたり、職員の連携を図り一人飲みはさせていません。授乳が難しい乳幼児には、医師や看護婦に相談して対応しており、特に疾病がなければ、様子の確認を行いながら、ミルクの量や時間を考えながらの支援しています。

②	A7 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	○
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	○
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

離乳食については、主に栄養士と担当職員が相談し、部屋の職員と共有しながら子供の体調や発育状態に合わせて開始時期などを考慮して取り組んでいます。準備食としておもゆ大匙1杯から始め、一日1回から3回の離乳食まで咀嚼機能の発達状態を観察しながらゆくした期間をとり、食品の種類や調理の方法を工夫して行っています。食事の楽しさや食事への意欲を大切に幼児食につなげています。食物アレルギー児や宗教の問題で禁食の必要な子どもが増えており、配慮した食の提供にあたっています。

③	A8 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	b
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと目線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	○
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	○
	<input type="checkbox"/> お腹がすくリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

光の入る明るく清潔な食事場所を提供し、体に合わせたテーブルとイスを用意しています。月齢や発達に応じた調理の提供と食事介助を行い、楽しい時間になるようにしています。スプーンの用意はしていますが、手づかみも発達の一つと考えて見守っています。食前の手洗いは必ず行い、職員が挨拶して食事をとる行動から、定着につながるよう支援しています。季節を感じる献立や種々の食材を提供し、おかわりを用意して、食べたいものや好きなものが増えるよう工夫しています。栄養士は担当者と連携して個々の発育状態等を把握し、「食に関する個人目標」を立てて対応しています。

④	A9 栄養管理に十分な注意を払っている。	b
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	○
	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

個々の発達に合わせて献立を作成し、様々な食育や季節感を取り入れた食事提供をしています。体調が悪い時は別献立で病児食の対応をし、食物アレルギーはアレルギーの有無を確認し、個別対応の献立としています。禁止食品の誤食対応のため別卓での食事を基本とし、行事食などマンツーマンの対応を行うことで、みんなと一緒に食べられる支援をしています。嗜好や摂取量を記録し体調管理と献立作成の参考にしています。食育目標を作成し、おなかのすく生活リズム、食事の際の挨拶、種々の食材の献立等の取り組み、また買物や食事作りに参加させ、食べることに興味関心を持てるよう発達に応じた支援をしています。

(3) 日常生活等の支援

①	A10 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	○

<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発にならば活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

衣類は担当職員に任されており、不足や不備生じた場合には声を掛け合い、早めに対応できるようにしています。衣類は清潔に保管され、肌に直接あたるものは木綿の材質のものを使用しています。親が個人衣類を用意される際にもどのような素材が子どもにとって望ましいか説明助言をしています。成長に合わせた着脱しやすく動きを妨げない衣服を用意しています。寒暖の状況と乳幼児の活動状況に合わせて衣服の枚数にも配慮しています。衣類は養育担当者名をタンスに貼り、テープを衣服に縫い付けることで個別に整頓して収納されています。

②	A11 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

快適な室内環境であり、体に触れる部分の寝具は木綿を使用して、布団を毎日干しています。1歳未満・1歳児は呼吸チェックを実施し体に触れて体温を感じる等で様子確認しています。2歳未満のうつぶせ寝は危険が伴うため、あおむけに体位を変えています。1歳未満児は夜間も昼間も職員の目の届く場所に寝かせています。睡眠リズムが取れない子にはベビーセンサーを使用し迅速な対応をしています。新生児は別室での新生児隔離の取り組みをしています。絵本を読む、歌を歌う、抱っこや体に優しく触れるなどをして、養育者がそばにいるという安心感を与え、個人差を考慮して自然に眠くなる待つようにしています。

③	A12 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	b
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

基本毎日入浴、沐浴を行い、病気等入浴できない場合は清拭で清潔にしています。浴室や沐浴槽は使用後に洗浄を行い、タオル等備品も清潔に収納されています。子どもにゆったり、静かに声を掛けながら、安心で、楽しい時間となるようにしています。新生児には胸にタオルのあて布を置き、怖がらず落ち着いた沐浴としています。また、入浴、沐浴は全身を観察する機会と考え、傷や湿疹等の確認をしています。おもちゃが用意され、幼児は大人も一緒に入る等しており、楽しい時間になるように工夫しています。

④	A13 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	b
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

個々の発達状況に合わせて言葉かけをし、こまめにオムツ替えし、オムツ替えが気持ちの良いことであることを伝えていきます。オムツ替えシートを使用して衛生面に配慮しています。また、股関節脱臼を防ぐため、足だけを持ち上げず、おしりから支えてオムツ替えを行っています。個々の排尿リズムを把握し、表情や行動から排泄を予想しています。月齢に応じて担当職員が様子をみながらトイレトレーニングを行い、便座に座ることに慣れることから始めています。好きな柄の綿パンツを用意したり、トイレで少しでも排尿、排便ができた時にほめることで、排泄への意識付けを行っています。

⑤	A14 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	b
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかわりができるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自発的で自由、楽しいことを遊びの原則とし、玩具係があり、見て、触れて、聞いて楽しめる玩具を用意しています。外遊びを日課として、散歩マップを作成して、抱っこやカート、徒歩で、散歩に出かけています。自然の風を感じたり、車の音を聞き、動植物との出会いや、木の実を掴んだりの遊びを体験することで生活リズムを整えたり、五感を育てる機会としています。玩具棚は低く設置し、月齢によって引き出しの位置を考慮して、子供が自由に手に取って遊べるようにしています。月齢や集団に合わせて個人の玩具収納箱も用意し、気に入った個人の玩具を持ち、退所時の持参も可能にしています。

(4) 健康

①	A15 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

一日の生活記録には体温、ミルク量、必要処置などを記入して引継ぎを行っています。入園日誌には1か月分の健康状態を記録し、健康記録表には身長、体重、胸囲を記入しています。これらの記録から健康状態を把握し、必要時に医療機関や看護師に相談しながら対応しています。月に1度嘱託医による一斉健診があり、事前に一斉検診連絡用紙に個別の診察の依頼事項を記入することで医師のコメントやアドバイスを受けています。予防接種は適宜受けており、健康記録表と母子手帳に記載しています。健康状態に異常がある場合には受診につなげ、特にアレルギー症状は専門の医療機関で対応しています。

②	A16 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	b
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○

専門医や主治医による定例的な診断を受けている。

異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。

【判断した理由・特記事項等】

入所時のアセスメントや一日の生活記録、入園日誌、嘱託医の健診新結果から、平熱や普段の健康状態を把握し、入浴、沐浴や着替え時の視察で状態変化の気づきにつなげています。与薬に関してのマニュアルにより服薬管理をし一包ずつ名前、日時、薬の種類を記載し鍵をかけて保管しています。与薬は与薬チェック表と他の職員にもわかるように声に出してWチェックを行っています。月に1回嘱託医の健診では、前日に身体測定をし成長や栄養状態を把握し、疾病による変化や異常の早期発見と嘱託医への相談に繋げています。持病のある子はかかりつけ医に定期受診をし状況によっては緊急の電話対応や受診をしています。

(5) 心理的ケア

①

A17 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。

a

心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。

心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。

心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。

必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。

心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。

【判断した理由・特記事項等】

心理士が配置をされており、心理的支援が必要な時はカンファレンスに参加し、個々の課題に対して、自立支援計画や個人目標で具体的方法を支援しています。担当者は子供の発達に関して心配な事があるときは心理士に相談しFSWとも連携をとり保育にあたります。乳幼児の場合評価しづらい側面がありますがチームの一員として心と体の発達に携わっています。精神疾患の父母の相談要望があれば心理士が担っています。大学の心理博士を招いて事例検討会を行い、職員間での意見交換と講師からの助言を受けています。心理士は外部研で自己研鑽を重ね、心理士による内部職員研修を行っています。

(6) 親子関係の再構築支援等

①

A18 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。

a

家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。

施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。

面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。

保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。

家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。

乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。

【判断した理由・特記事項等】

毎月のおたよりで成長記録や行事や生活の様子をお知らせし、お食い初めや誕生会に招待する等で保護者と共に育てていく支援をしています。面会は養護室で行い子供の様子や職員対応を見る事ができミルクを与えたり、沐浴を一緒にすることで、親子の愛情が深まるようにしています。保護者からの要望や相談も受けつけ、日常の生活の様子を伝え、また電話での様子伺いもしていることを伝え、担当者との信頼関係を作れるようにしています。家族支援専門員が傾聴することで、親の自責の念や困り事に気づき、家族への支援に繋げると共に子供の成長や思いを伝え、喜びを共有するようにしています。

②

A19 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。

a

家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。

入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。

子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。

<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

入所時の児童相談所児童記録票とアセスメントから家族の持つ課題を抽出した児童自立支援計画を作成しています。児童自立支援検討会を経て児童自立支援計画を作成し、家庭の機能回復のための具体的な支援プログラムにそって面会や外出、外泊を積極的に受け入れて親子を繋いでいくようにしています。乳幼児は言葉で表すことはできないことから、面会や外出、一時帰宅後に不適切なかかわりを見つけることは難しいのですが、表情や通常とは違った行動がないか等を観察しています。面会等の親子交流の様子を児童相談所に報告しステップアップを提案する事もあります。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

① A20 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

退所前に、退所先との話し合いの機会を重ね、外泊などのならし期間をとる等で退所後の安定が図れるかの判断を行っています。退所後はケースによっては訪問で様子の確認を行い、退所後のカンファレンスを行っています。年2回の招待行事へのお誘いや相談支援ができることをお知らせし、退所先からのSOSには退所後のレスパイトの受け入れもしています。家族や退所先の地域の役場などの関係機関の相談窓口との連携を図っています。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

① A21 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

里親委託に至るまで里親支援専門相談員や児童相談所等と連携し、カンファレンスを重ねて段階を経た支援を行っています。困った事や課題にのみ目を向けるのではなく、子供の良い所や優れている事に目を向け、できる事への楽しみを考えていけるよう支援しています。里親支援専門員は里親からの相談はいつでも受け付けていると伝え、継続的支援を行い、里親支援機関「里親センターひこばえ」では、里親講座、研修会(里父の集い)やサロンに参加する機会を通して様々な里親支援をしています。市民祭りにブース出展し里親制度の啓蒙活動を行っています。

(9) 一時保護委託への対応

① A22 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	<input type="radio"/>

	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境（家庭復帰・里親、児童福祉施設等）の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

乳幼児の一時保護機能を担い受け入れています。児童相談所と情報を共有し、乳幼児の様子を職員間で引き継ぎながらアセスメントを行い、本人の環境を整えるようにしています。これまでの養育環境から、病・虚弱児の可能性も大きいことが予想されるため、日中、夜間の心身状況の観察と記録を行っています。発熱時には受診につなげ、食べ物が原因の体調不良が疑われる場合はアレルギー専門医の受診を行っています。児童相談所をはじめ、多職種とアセスメントを行って、安心して生活できる今後の養育環境の確保をしています。

	② A23 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	
	<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

コロナの感染症対策として病院に受診後の受け入れとしていますが、子供の生命安全を図るため、夜間でも緊急一時保護は断らず、受け入れています。入所後3日、3週間、3か月を気かけながら特に丁寧な対応と観察を行っています。医療機関に入院中の場合は面会に行きサマリーをもらい対応しています。発熱等がみられた時は速やかに受診につなげています。受け入れ後は児童相談所、心理士も含めた多職種でアセスメントを実施し、入所時児童自立支援計画、個人目標を作成し、部屋会議で情報の周知を図って対応しています。